



- 2. 社会人口学の立場から 阿藤 誠 (国立社会保障・人口問題研究所)
  - 3. ジェンダー論の立場から 津谷典子 (慶応義塾大学)
  - 4. 歴史人口学の立場から 鬼頭 宏 (上智大学)
- < 討論者 > 岡崎陽一 (日本大学)  
河野稠果 (麗澤大学)

共通論題C 「人口学教育を考える」

- < 組織者 > 廣嶋清志 (島根大学)  
< 座長 > 杉野元亮 (九州共立大学)

[報告テーマおよび報告者]

- 1. 社会学の立場から 井上俊一 (日本大学)
  - 2. 人類生態学の立場から 大塚柳太郎 (東京大学)
  - 3. 経済学の立場から 小川直宏 (日本大学)
  - 4. 地理学の立場から 高橋眞一 (神戸大学)
- < 討論者 > 大淵 寛 (中央大学)  
坪内良博 (京都大学)

テーマセッション(1) 「形式人口学の新次元」

- < 組織者・座長 > 河野稠果 (麗澤大学)

- 1. 初期故障のある雪崩モデルに基づく新しいモデル生命表  
中澤 港 (東京大学)
- 2. イベント・ヒストリー分析の歴史人口学への応用 津谷典子 (慶応義塾大学)
- 3. 人口動態モデルの新次元を探る 金子隆一 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 4. 両性人口モデルによる結婚市場の分析 鈴木 透 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 5. 人口移動と両性を考慮した安定人口モデル 石川 晃 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 6. 出生力のエイジ・シフトの効果について 稲葉 寿 (東京大学)
- 7. ランダム・シナリオ法による人口の将来推計：全日本と地域  
南條善治 (東北学院大学)  
吉永一彦 (福岡大学)

テーマセッション(2) 「国際人口移動の動向と背景：開発、貧困、環境の視点から」

- < 組織者・座長 > 渡辺真知子 (明海大学)

- 1. マレーシアの経済発展と人口変動 大塚友美 (日本大学)
- 2. フィリピンの国際労働力移動と経済発展 吉田良生 (朝日大学)
- 3. 諸外国の移民・外国人労働者受入れ政策の比較検討：量と質のコントロールという観点から  
三好博昭 (三井情報開発(株)総合研究所)
- 4. 国際人口移動の所得分配効果 野上裕生 (日本貿易振興会アジア経済研究所)

自由論題報告

(第1部会)

- < 座長 > 早瀬保子 (日本貿易振興会アジア経済研究所)

- 1. タイの過剰人口と経済発展:日本との比較 山口三十四 (神戸大学)

2. 出稼ぎによる農村女性の労働移動：中国広東省の出稼ぎ女性の実態調査報告  
陸 小媛（城西国際大学）

<座長> 高坂宏一（杏林大学）

3. インドにおける出生力変動：1981年、1991年データの比較  
西川由比子（城西国際大学）
4. パプアニューギニア・バルアン島における農村 - 都市間移住の人口動態に及ぼす影響  
安高雄治（東京大学）  
大塚柳太郎（東京大学）
5. HIV/エイズが人口に与える影響  
小松隆一（国立社会保障・人口問題研究所）

（第2部会）

<座長> 石川義孝（京都大学）

1. 奈良県の人口変動と職業変化  
坂西明子（奈良県立商科大学）
2. 日本女性の就業と結婚：パネルデータによる分析  
吉田千鶴（慶応義塾大学）
3. 転勤移動者の属性分析  
清水昌人（国立社会保障・人口問題研究所）
- <座長> 濱 英彦（成城大学）
4. 通勤流動からみた東京大都市圏の人口構造について  
中村和浩
5. 地理情報システムを用いた都市圏再生産構造の分析  
梅崎昌裕（東京大学）
6. 片品村の地域づくりの現状と課題：産業構造を中心として  
笹澤 武（関東学園大学）

（第3部会）

<座長> 重松峻夫（福岡大学）

1. 人口をめぐる政策と倫理：「人口政策」論再考  
佐藤龍三郎（国立社会保障・人口問題研究所）
2. 低用量経口避妊薬（OC：Oral Contraceptives, ピル）と少子化  
早乙女智子（東京都職員共済組合青山病院）
3. 河野稔果先生の「人口変動とホメオスタシス」について  
内海健寿（会津大学）
- <座長> 加藤壽延（亜細亜大学）
4. 宗教と出生政策  
小島 宏（国立社会保障・人口問題研究所）
5. 人口分野における日本の開発援助とその「包括的アプローチ」の問題点  
柳下真知子（PRB 東京連絡事務所）
6. “人口”最先進国日本の国際的協力と貢献  
黒田俊夫（日本大学）

（第4部会）

<座長> 黒須里美（麗澤大学）

1. 宗門改帳における出生と乳児死亡の過少登録：日本歴史人口学の残された課題  
木下太志（愛知江南短期大学）
2. 近世日本における人口政策  
石原正令（関東学園大学）
3. 19世紀ケムブリッジ州チペナム教区における人口・家族・社会・そして経済  
伊藤栄晃（関東学園大学）
- <座長> 古郡鞆子（中央大学）
4. 戦後日本の人口移動に対する所得格差説と就業機会説の説明力について

- |                            |                   |
|----------------------------|-------------------|
|                            | 伊藤 薫 (岐阜聖徳学園大学)   |
| 5. 既婚女性の出産、就業継続と結婚観        | 永瀬伸子 (お茶の水女子大学)   |
| 6. 近年の米国における離婚率低下は本物か：日米比較 | 麻生武典 (カリフォルニア州立大) |

(第5部会)

<座長> 小野 旭 (東京経済大学)

1. 少子化と日本経済(1)：置換水準を回復した場合の将来推計人口
 

和田光平 (中央大学)
大淵 寛 (中央大学)
加藤久和 (国立社会保障・人口問題研究所)
2. 少子化と日本経済(2)：長期モデルによる将来展望
 

加藤久和 (国立社会保障・人口問題研究所)
大淵 寛 (中央大学)
和田光平 (中央大学)
3. 出生力、教育投資及びその外部性：少子化是正の経済モデル分析
 

佐々木啓介 (東洋大学)
--------------
- <座長> 大塚柳太郎
4. 拡張年齢依存モデルを用いた確率論的シミュレーションモデルの構築
 

萩原 潤 (東京大学)
-------------
5. 過疎化のシステム・ダイナミクス・モデル その4：過疎対策の可能性とその効果
 

原 俊彦 (北海道東海大学)
田村朋子 (日本女子大学)
6. 市区別将来人口推計の適合度

(第6部会)

<座長> 林 謙治 (国立公衆衛生院)

1. 東欧諸国における近年の出生率低下
 

中川聡史 (神戸大学)
-------------
2. 1970年代半ばからの合計出生率低下分析：コーホート変数による要因分解
 

廣嶋清志 (島根大学)
別府志海 (麗澤大学)
3. 近年における出生率変動のタイミング効果
 

別府志海 (麗澤大学)
-------------
- <座長> 森岡 仁 (駒沢大学)
4. 少子化における子どもの人口学的状況
 

坂井博通 (埼玉県立大学)
---------------
5. 子供の価値・費用・便益の推計と比較
 

守泉理恵 (中央大学)
-------------
6. 少子化の動向と子育て支援策：保育サービス供給コストの視点から
 

今井博之 (国立社会保障・人口問題研究所)
(佐藤龍三郎記)

## 日本人口学会第52回大会英語セッション

日本人口学会(会長：石 南國・城西大学教授)の第52回大会(運営委員長：嵯峨座晴夫・早稲田大学教授)が2000年6月2日(金)～3日(土)の2日間にわたって早稲田大学国際会議場で開かれた際、2日目の午後にエイジング総合研究センターの協賛により "Population Aging and Family Change in East Asia" (東アジアにおける人口高齢化と家族変動)と題された英語セッションが開催された。これは日本、韓国、台湾の東アジア3カ国の人口学会の相互交流覚書に基づく試みという位置づけも